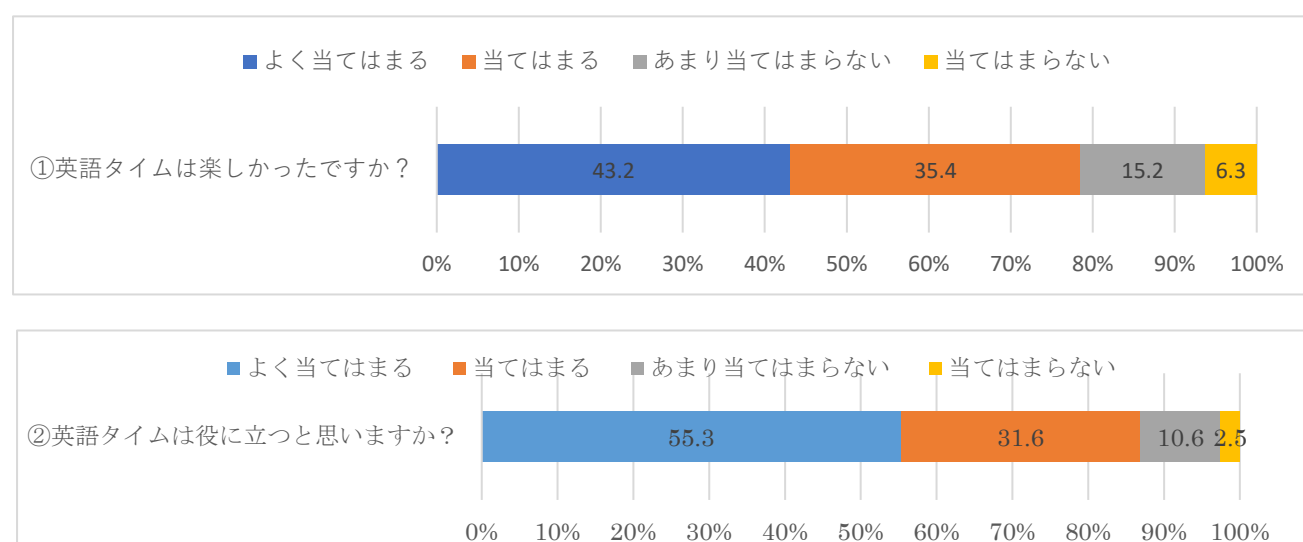


1 自己評価結果

令和7年度の1年生から4年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語活動（英語タイム）は楽しかったですか」という質問に対し、「よく当てはまる」「当てはまる」と回答した児童は、全体の78.6%でした。また、「英語タイムは役に立つと思いますか」という質問に、「よく当てはまる」「当てはまる」と回答した児童は、全体の86.9%でした。以上のことから、本校の多くの児童は、基本的にDVDを視聴しながら行われる英語タイムの活動を楽しんでおり、英語のみで会話等がされているDVDのお話でも、ある程度以上は理解し、活動を行うことができている児童が多いということが分かります。また、どちらかというと、低学年の方が、元気な声で単語を発音したり、リズムに合わせて体を動かしながら踊ったりと、DVDでの英語タイムを楽しんでいることも分かりました。

資料1

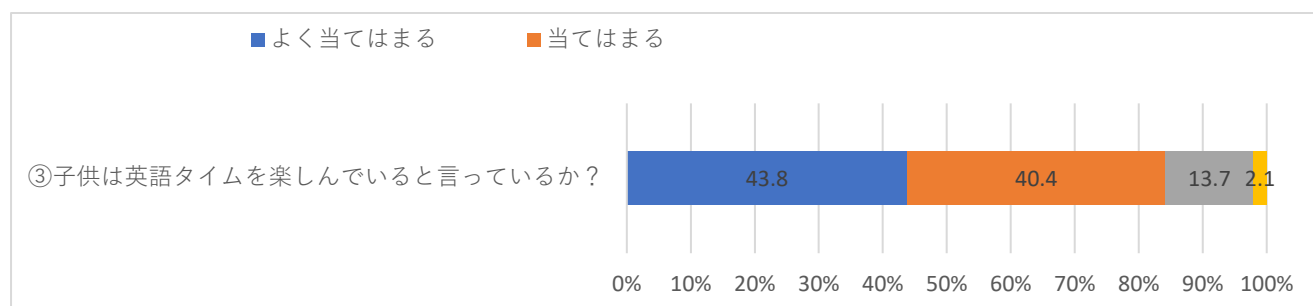
【資料1】児童のアンケート結果



2 学校関係者評価結果

保護者へのアンケートでは、「子供は英語タイムを楽しんでいると言っているか」という質問に、「よく当てはまる」「当てはまる」と84.2%の保護者が回答をしている。このことから保護者にとっても、多くの子供たちが楽しむことができている英語タイムの取組は、好意的に受け止められていることが推察される。また、学校関係者には、児童が英語DVDを視聴し、活動を行う様子を見ていただき、「多くの子供がとても楽しそうに視聴していてよい」「これからも続けて国際社会で活躍できる人材の育成につなげてほしい」という声が聞かれた。そして、児童がDVDの映像に合わせて一緒に単語を発音したり、アルファベットを空書きしたりする様子を見て、子供たちが英語に触れるとてもよい機会であるという前向きな見解をいただきました。

資料 2



3 まとめ

資料 1 ①、資料 2 ③の結果から、児童は日々のDVD視聴を楽しみながら英語に触れ、親しむことができていると捉えることができます。特に自分の生活や身近な物事に関係する英単語を中心に引き上げられているので、より多くの子供が必要感をもち、意欲的に活動を行う中で英語に親しむことができていることがうかがえました。また、ほぼ英語のみで作成されたDVDの内容についても、登場人物の動きや表情などを基にして、おおむね理解することができていることもうかがえます。

資料 1 の②にあるように、子供たちは英語タイムを役に立つと考えている子が多いことから、本校の子供たちは英語に関する興味・関心が比較的高く、英語を「聞く」「書く」「話す」ことが、今後の自分の生活の中でも必要になってくるという考えをもっていることが分かります。それが英語タイムへの意欲の高さに表れていると言えます。

今後の課題としては、学年が上がるにつれて、英語に苦手意識を持ち始める児童が増加傾向にあるため、3，4年生の英語活動や5，6学年の外国語科において、より主体的に学習をすることができるように授業改善をしていく必要があると考えています。そして、一人でも多くの子供が自信をもって英語を聞き、使い、話し、英語を使って積極的にコミュニケーションを取ることで、より自分の視野を広げ、英語を使うことを楽しみながら、自身の生活に英語を役立てることができるようにしていきたいと考えています。